

青森北高校進路通信

発行日：2024 年 7 月 19 日（金）
発行元：青森北高校進路指導部

第 2 号

1・2 学年 第 1 回進路志望調査結果（6 月実施）

1 学年の進路志望（同時期での過年度比較）

区分	R6 1 年生		R5 1 年生		R4 1 年生	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
国立大	52 人	(26.4%)	55 人	(27.8%)	47 人	(28.1%)
公立大	43 人	(21.8%)	40 人	(20.2%)	39 人	(20.4%)
私立大	40 人	(20.3%)	45 人	(22.7%)	49 人	(23.0%)
国公立短大	0 人	(0.0%)	1 人	(0.5%)	0 人	(0.5%)
私立短大	11 人	(5.6%)	4 人	(2.0%)	3 人	(2.0%)
専修学校等	12 人	(6.1%)	15 人	(7.6%)	21 人	(7.7%)
就職	35 人	(17.8%)	37 人	(18.7%)	37 人	(18.9%)
未定	4 人	(2.0%)	1 人	(0.5%)	0 人	(0.5%)
合計	197 人		198 人		196 人	

1 年生の進路志望調査では、左表にはありませんが、県外の国公立大学、私立大学を志望している生徒が昨年、一昨年より多い傾向にあります。考え中の生徒も多いと推測できますが、まずは文理選択について不安を持っている人は、この夏休みに卒業後の自分はどうなりたいのか、将来就きたい職業から考えてみましょう。または、好きな科目（学問）を考え、実際にオープンキャンパス等で大学に足を運び、大学で学べる学問がどんなものか、得意でなくとも興味が持てるかを体験することも文理選択で失敗しない賢い方法と言えます。一方、就職志望者については、現在約 7 割が公務員を志望しています。就職志望者は、ここ 5 年間は毎年 35 名程度で推移しており、令和 2 年度から徐々に増加傾向にあります。公務員も多くの種類がありますが、特に事務職系は進学志望者の上位層と同じくらいの学力が必要です。公務員志望者はしっかりと 1 年生から学力をつける必要があります。

2 学年の進路志望（前回 令和 6 年 1 月との比較）

区分	今 回		前 回	
	人数	(%)	人数	(%)
国立大	42 人	(21.4%)	43 人	(21.8%)
公立大	39 人	(19.9%)	43 人	(21.8%)
私立大	43 人	(21.9%)	43 人	(21.8%)
国公立短大	0 人	(0.0%)	0 人	(0.0%)
私立短大	6 人	(3.1%)	6 人	(3.0%)
専修学校等	20 人	(10.2%)	15 人	(7.6%)
就職	41 人	(20.9%)	45 人	(22.8%)
未定	5 人	(2.6%)	2 人	(1.0%)
合計	196 人		197 人	

2 年生は昨年末の調査と比べて進路志望先に大きな変化は見られませんでした。進学志望者は、国公立大では弘前大学、青森公立大学、青森県立保健大学などの地元の学校を志望する人が多いようです。ただし、県外の私立大を志望する動きもここ 2、3 年の過年度生の同時期の傾向と比較すると若干増えています。この夏休みは、自分が何を重点的に取り組むべきかを自覚し、実行していく必要があります。志望校のオープンキャンパスへの参加、具体的な受験方法や受験科目、配点等を確認するとともに、より自分に合った学校、学部・学科、受験方法等がないか進路研究をしましょう。また、受験費用や学費などの経済的な問題について保護者と必ず相談し、公的な奨学金制度、大学独自の給付金制度に関しても調べておきましょう。

現在、2 年生の就職志望者のうち 11 名が民間企業、30 名が公務員を志望しています。2 年生は公務員学内講座が秋から始まり、進学志望者より一足早く実践的な試験勉強に入ります。民間企業の求人は人手不足という面もあり、現在、売り手市場となっています。この夏、3 階の小ホールにある求人票を見て、どのような企業や職種があるのかを調べると良いでしょう。企業の担当者からお話を伺うと、今や「転職」が当たり前の世の中になりつつあります。資格や自分が身に付けた多くのスキル（技術

や知識）がものをいう時代です。また、就職してもその業界で新しい技術や傾向を「勉強」しないと生き残れません。「勉強」は一生ついてまわります。「勉強」したくないから「就職」は通用しません。進学、就職いずれの志望にしても、部活動との両立、意識を高くもった生活リズムを心掛け、授業を大切にしながら「学ぶ」姿勢を身に付けることが大切です。

【就職】7 月 1 日 求人票公開始まる

民間就職の求人が、続々と進路指導部宛に届いています。求人票とは、仕事内容や雇用形態、勤務地や給与、福利厚生などの最も基本的で重要な情報が掲載されているもの（「進路の手引」参照）です。これらを見比べて、自分にとって譲れない条件をもとに応募先を絞っていくのです。その後、夏休み中に会社・企業見学などに参加後、応募先を最終決定して履歴書を書き上げ（8 月 13 日頃までに）、9 月 16 日以降に試験を受けます。夏休み中も出校して、履歴書作成や面接、作文練習などを行うことになります。

求人票は進路指導室前の PC から検索できます。今年度、PC やプリンターが新しくなりました！



【進学】総合型・学校推薦型選抜の個別指導スタート

6 月中に 3 年生の国公立大の総合型・学校推薦型選抜受験希望者は、各自の志望に沿って個別指導希望の仮登録を行いました。国公立大学は特に難易度が高く準備にも時間がかかるため、本校では早めに全職員での指導を開始し、それぞれの先生方が数名の生徒を受け持って、時間をかけて準備しています。7 月からは順次志望理由書の作成と面接、小論文やプレゼンテーションなどの個別指導が始まりました。

私立大学を第一志望とする受験生は担任の先生方と志望理由を作成しながら、9 月から全職員による面接、小論文の指導を開始します。各種選抜の日程は学校によって異なりますが、そのピークは総合型選抜が 10 月、学校推薦型が 11 月です。それまでに関連書籍を読んだり、関連する事柄について詳しく調べ、必要なら体験活動や課外講座に参加したりと、やるべきことが多くあります。当然ながら、大学入学後の学力維持や不合格となった場合に一般入試に挑戦するためにも講習に参加して学力を高める努力が必要不可欠です。

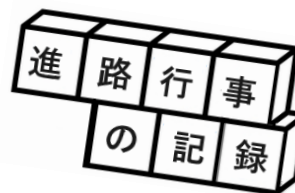


仮登録説明会

6月20日(木) 3学年進路講演会を行いました

「志望理由書の書き方」(進学) 講師: 株式会社ソーシャルデザイン研究所 横田 和典 氏

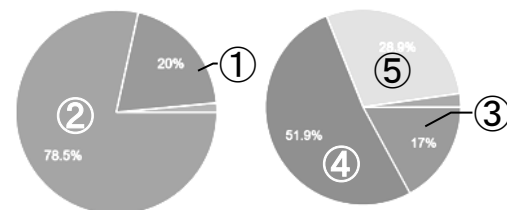
「求人票の見方と履歴書の書き方」(就職) 講師: ジョブカフェあおもり 渡邊 智香子 氏



今回の講演会は、進学と就職志望者向けの2つの会場に分かれて実施しました。進学志望の生徒向けの講演では、就職と進学のメリット・デメリット、進路別にみる将来の仕事、学校・学科を選ぶときのポイント、主な入試方法、そして今やるべきことなどの説明がありました。また、学んできたことがそのまま仕事に結びつく「学び」もあれば、結びつかないものもあることや、高校卒業時と大学卒業時に求められる能力の違いなど、現実即した様々な視点から志望理由書を書くうえで、理解しておくべきことについてもお話しがありました。講師の横田氏は生徒一人一人に直接語りかけるような講演で定評があり、講演後の生徒のアンケート結果でも、①「大いに参考になった」、②「参考になった」という意見が98.5%を占め、満足度は高かったようです。しかし、進路に向けた自分自身の準備は?という質問には、③「すでにスタートして見通しが立っている」は17%にとどまり、④「すでにスタートしたが、まだまだやるべきことが多い」が51.9%、⑤「スタートしようとしているが、なかなか進まない」が28.9%で、まだまだ準備すべきことが多い様子です。

一方、就職志望者に対する講演では“もう始まっている、就職活動の準備をしよう”をテーマに、求人票の見方や履歴書の書き方、企業を選ぶポイントなどについて、ジョブカフェのキャリアカウンセラー渡邊氏が生徒の座席を回りながら丁寧に説明してくださいました。

こちらの講演を聴いていた生徒のうち、計26名の生徒が7月8日に行われたハローワーク主催の県内企業説明会にも参加しており、夏休みから本格化する就職活動にむけて実践的に学び、9月の民間就職試験や10月の公務員試験(二次試験)に生かそうと真剣に耳を傾けている生徒の様子もうかがえました。



6月24日(土) 保護者進路研修会(進学)を実施しました

講師: 株式会社ソーシャルデザイン研究所 (採用・コンサルティングアドバイザー) 姜 雅人 氏

今年度、研修会には約70名の保護者が参加されました。第Ⅰ部では「本校での進学状況について」進路指導部の山本主任から、第Ⅱ部では「進学の意義や受験のしくみ」をテーマに講師の姜氏が講演を行いました。実施後のアンケートでは「大変参考になった」「参考になった」という回答が90%以上を占め、高評価をいただきました。第Ⅱ部では、現在の社会状況と将来の働き方を見据えて、今の生徒に求められている力と進学との関係性についてお話いただきました。いずれも保護者の皆さんが真剣に聞いている様子がうかがえ、アンケートにも積極的な意見や感想が目立ちました。



【保護者アンケートより】

近い未来の働き方や、お給料のことを知れてよかったです。とても参考になり、すぐに取り入れたいです。講師の先生の話がとてもわかりやすくなりました。自分が思っていた、また経験した大学選びの仕方が違い、今日は参加させていただいてとてもよかったです。3年生だが、もっと早くに知りたかった。大変参考になりましたが、入試の方法など昨年度(2年生の時)に知りたかったです。進学先によって入試方法が異なることがわかりました。子供と希望する学校へ受験できるように家族でも話し合いたいです。高卒と大卒の初任給の差を知ることはとても大事だと思います。もっと情報開示して子供たちのやる気を出していけたらよいと思います。

進路関連行事の予定

7月20日(土) 青森公立大学オープンキャンパス

24日(水) マイナビ進学ライブ【青森産業会館:2年生全員参加】

23日(火)~26日(金) 1~3学年夏期講習 *3学年は7月31日(水)まで

8月 1日(木)~2日(金) 3学年全統共通テスト模試

8日(木) 弘前大学・弘前医療福祉大学オープンキャンパス

【1年生全員、2・3年生の希望者参加】 ←

19日(月)~21日(水) 1~3学年夏期講習

24日(土) 看護大学等説明会 / 24~25日(土・日) 薬剤師体験セミナー

8月27日(火) 3学年進路講演会(面接・自己PR対策)

〈お知らせ〉

今年度の「進路の手引き」ができました。本校の近年の進路状況等や進路選択のポイントがわかります。



7月22日(月) 17:00 から、弘大オープンキャンパスプログラム参加事前申し込みが開始されます。人数制限等があり、事前申込が必要な企画は、申込者優先となります。この参加申込は生徒が各自で行います。詳しくは、弘前大HP上「弘前大学オープンキャンパス2024について」へ

輝く卒業生! ~活躍する先輩たち~

本校の令和3年度卒業生、吉崎結花さん(八戸工業大学感性デザイン学部3年)

が、「令和5年度デザインパテントコンテスト」で特許庁長官賞を受賞しました。同コンテストは、学生の知的財産マインドを育てるとともに、知的財産権制度の理解を促進することを目的に、文部科学省、特許庁、日本弁理士会、INPITが主催となって実施しているものです。今回、デザイン部門には、622作品の応募があり、特許庁長官賞は、その中でも特に優秀な作品に贈られる賞です。

吉崎さんが創作したテーマは、「L字型画鋸(がびょう)」で、爪の長い人や高齢で指の力が弱くなった人でも簡単に抜くことができる画鋸です。吉崎さんは大学の講義で「ユニバーサルデザイン」を学び、3か月かけてこの画鋸を考案したそうです。おしゃれでネイルを楽しむうちに一般的な画鋸を抜くことが難しいことに気づき、使いやすい形に工夫ができないか考えた結果、たどりついたということです。

吉崎さんは受賞報告のため、6月10日(月)に感性デザイン学科の教授とともに宮下知事を訪問し、試作した画鋸を実際に使っていただいて、お褒めの言葉と激励を受けています。(写真右上)

このデザインは特許出願支援対象となり、日本弁理士会が出願書類の書き方等を指導・支援し、特許庁への出願を行うとのこと。さらに、八戸工業大学は、メーカーと協議してこの画鋸の製品化を検討しているということです。近いうちに私たちもこの画鋸を使えるようになるかもしれませんね。

